２０２６年１１月２日
日本原子力発電株式会社

敦賀発電所の近況について

敦賀発電所の近況について、以下のとおりお知らせします。

１．発電所の状況について（２０２６年１１月２日現在）

１　号　機 沸騰水型	廃止措置中（２０１７年４月１９日～） ・第７回定期事業者検査中（２０２６年４月６日～未定※） ※ その他主要設備の内、廃棄物処理建物換気系の排風機１台（全２台）の検査に必要な設備の交換に時間を要するため。 また、その他原子炉の附属施設の内、非常用蓄電池１台（全２台）の検査に必要な設備の交換に時間を要するため。
２　号　機 加圧水型 （１１６万kW）	第１８回定期検査中（２０１１年８月２９日～未定） 新規制基準適合性確認の申請に向けた取り組み ・追加調査実施中（２０２５年９月１６日～）　【別紙】

（　）内は定格電気出力

＜新規制基準への適合性審査に係る申請状況＞

	申　　請	申請日	補正日	許認可日
２ 号 機	保 安 規 定 変 更 認 可	2015.11.5	―	―

２．故障等の状況について（２０２６年１０月３日～２０２６年１１月２日）

（１）法律に基づく報告事象
なし

（２）安全協定に基づく異常時報告事象
なし

（３）保全品質情報等
なし

３．敦賀発電所３，４号機　準備工事について（２０２６年１１月２日現在）

現在、原子炉建屋背後斜面の緑化管理等の建設予定地維持管理及びコンクリート製造・供給プラントの設備維持管理等を継続して行っています。

４．その他

（１）敦賀発電所の低レベル放射性廃棄物の輸送について

当社は本年１１月、敦賀発電所の低レベル放射性廃棄物を日本原燃株式会社の低レベル放射性廃棄物埋設センター（青森県六ヶ所村）へ輸送します。

このため、低レベル放射性廃棄物専用の運搬船「青栄丸」が１１月４日に敦賀発電所に入港します。

出港は、専用コンテナ１３３個の積込み作業等終了後の１１月１０日を予定しています。なお、気象状況によって、輸送日程が変更になる場合があります。

（２）げんでんふれあいギャラリー催し物のご案内について

【開館時間　９：３０～１６：３０】

＜個人・グループでの芸術活動、趣味の発表の場としてご利用いただいています＞

① アトリエ ペルリーナ 手仕事展（３）

アトリエ ペルリーナ（代表：河崎（かわさき） 節子（せつこ） 様）の皆様による手芸作品展です。ビーズ刺繍を使ったアクセサリーや、クラフト、バックなど、様々な作品を６０点展示予定です。　（１１月３日 ～ １１月８日）

② 己書作品展

敦賀市在住の己書師範（２名）とその道場生の皆様で構成された、日本己書道場（代表:江草（えぐさ） 真理（まり） 様、高木（たかぎ） 俊子（としこ） 様）の作品展です。筆文字と絵を通して心に響く言葉などを描いた作品を２００点展示予定です。

（１１月１７日 ～ １１月２２日（最終日は１５：００まで））

③ どこ吹く風のプラタナス

安田（やすだ） 貴雄（たかお） 様による絵画作品展です。色鉛筆や水彩画、油絵などによる風景や人物、静物が描かれた作品を中心に３５点展示予定です。

（１１月２４日 ～ １１月２９日）

（３）げんでんＬＩＮＥ公式アカウントのご紹介

当社のイベントや敦賀発電所の情報など様々な情報をお届けしています。皆さまの登録をお待ちしています。

お友達登録はこちら！

以　上

別紙

敦賀発電所2号機 新規制基準適合性確認の申請に向けた現地調査

現在、現地における追加調査を行っています。掲載している写真は「K断層の分布と性状」、「K断層の連続性」の調査を目的とした作業として、K断層を確認するためのボーリングおよび掘削を行っているものです。

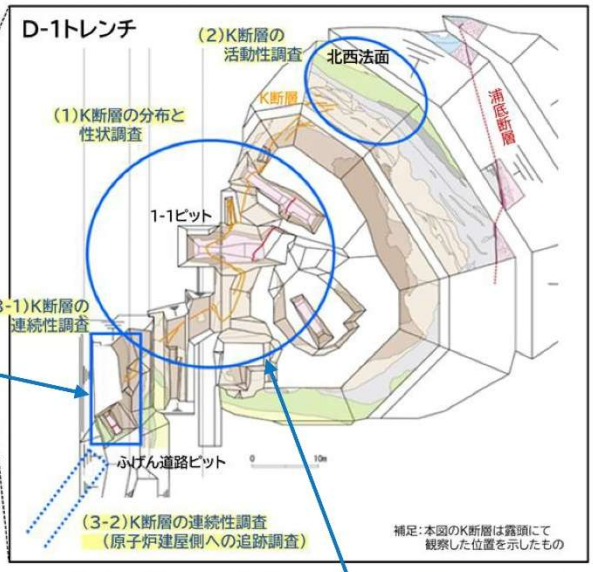
引き続き、安全確保を最優先に調査を進めてまいります。

項目		調査目的	調査位置・概要		実施状況
1	K断層の分布と性状	K断層の岩盤及び深部での分布や性状を確認し、その特徴を詳細に把握	(1)	K断層が屈曲している箇所における岩盤までの掘削や、D-1トレンチの地下深部までのボーリング調査を行う。	現地調査中
2	K断層の活動性	K断層の活動年代を特定するための地質データを更に拡充	(2)	• D-1トレンチの北西法面のボーリング等による地質の詳細調査を行う。 • ふげん道路ピットの上載層から採取したブロックの内部構造をCTで確認する。	現地調査中
3	K断層の連続性	K断層の連続性の有無を、従来のボーリングデータによる評価に加え、岩盤面において直接確認	(3-1)	ふげん道路ピットを岩盤まで掘削し、K断層が南方に連続していないことを直接確認する。	現地調査中
			(3-2)	ふげん道路ピットから敦賀発電所2号機原子炉建屋側への延長部において、調査坑によるK断層の追跡調査を行う。	(3-1)の調査後に対応
4	その他の破砕帯等	K断層が重要施設の直下まで連続していないことを確認するとともに、敷地全体の破砕帯等の地質データを取得	(4)	原子炉建屋周辺の地質、破砕帯の性状、原子炉建屋直下の破砕帯の活動性、その他の破砕帯の分布、活動性等について、ボーリング調査、調査坑による調査を行う。	現地調査中

＜追加調査概要＞

D－1トレンチでの追加調査







【K断層の連続性】
ふげん道路ピットでのボーリング



【K断層の分布と性状】
D-1トレンチでの掘削作業